

日本の未来を拓くよすが（拠）を求めて  
-日本の近代化を導いた人々の思想と行動、その光と影を追う-

「西の文化」の彼方に「東の文化」を構想した人物  
(Part III 思想・文学分野)

# 天地の人・三浦梅園

講師： **小川 晴久**先生

## 【講演要旨】

**人は天地の人、道は天地の道、善悪は天地の善悪、是非は天地の是非。**

三浦梅園（1723～1789）は10歳以前から天地（自然）の現象に目をみはり、その仕組みに関心を持ち続けた。23歳の時長崎旅行や『天経或問』と言う書を通して地の球体を知るが、西洋も天地の仕組みは未解明と感じ、探究を続け、30歳の時「**氣に観るあり、天地に条理あるを知る**」と達観して、「一即一、一則一（一有二、二開一）」という条理と反観合一法という認識法で天地の仕組みの叙述を始め、23回書き直し、23年掛けて『玄語』（漢文）という書に完成させた。『玄語』の天冊は天神、本神などの条理語で構成され、難解を以て知られる。7年後の梅園生誕300年に向けて、その難解な所を解明しようと梅園学会（41年目を迎える）は昨年からそれに集中しているが、本講演では梅園の**天人の分と天人の合の視点と彼の人間観**を紹介する。人間は自然（天）の一部であるが、人間には意識があつて、無意の自然（天）とは違い（分）がある。この分は人間の能動性という肯定面を持つが、人間の主観で全てを見るという否定面を持つ。「**其うたがひあやしむべきは変にあらずして常の事也**」という有名な彼の懐疑精神は、人間中心の認識全てに向けられていた。梅園は人間を「人道を以て人と為る」側面と「天道に順（したが）って人と成る」側面の統一と見たが、現代人は後者の側面がほとんど理解できなくなっている。

## 【講師略歴】

東京大学名誉教授。梅園学会代表委員（会長）。1941年愛知県岡崎市に生れる。東京大学大学院人文科学研究科中国哲学専門課程博士課程単位取得退学。東京女子大学、東京大学、二松學舎大学にて教鞭をとる。専門は東アジア思想史。主著に『三浦梅園の世界』、『朝鮮実学と日本』、『南の発見と自立』、『実心実学の発見』（編著）、『北朝鮮の人権問題にどう向き合うか』など。

日時： 2016年 **9月16日（金）18:00**～20:30

会場： **公益財団法人国際高等研究所**

参加費： **2,000円**（交流・懇談会費用を含む）

定員： **40名**（申し込みが定員を超えた場合は抽選）

申込： 「参加申込書」（裏面）によりお願いいたします

詳細： <http://www.iias.or.jp/public/goethe.html>

しめきり

9月13日（火）

必着



J. W. von GOETHE

**IIAS** 公益財団法人  
**国際高等研究所**  
International Institute for Advanced Studies

ゲーテの会とは・・・

けいはんな学研都市の建設理念は、「従来の近代科学技術文明を乗り越え、新たな地球文明を創造するために、西欧が生み出した文明の成果と自らに固有の東洋の文化を総合する」ことにあります。高等研にあるゲーテの胸像はその理念のシンボルです。満月の夜は高等研で、人類の未来と幸福・けいはんな学研都市の将来について一緒に考えてみませんか。

第39回

満月の夜開く けいはんな哲学カフェ

ゲーテの会

# 参加申込書

- 下記に必要事項を記入して、FAX 又は郵送でお申し込みください。
- E-mail でのお申し込みの場合は、以下の内容を記載してお申し込みください。
- なお、申込書記載の個人情報は、当会の開催ご案内等を行うために使用させていただきますが、外部に公開することはありません。

◆ お問い合わせ、お申し込み先 ◆

〒619-0225 京都府木津川市木津川台9丁目3番地

公益財団法人国際高等研究所

けいはんな「ゲーテの会」事務局

E-mail : goethe0828@iias.or.jp FAX : 0774-73-4005

第39回 満月の夜開く けいはんな哲学カフェ 「ゲーテの会」 2016年9月16日(木)開催		
お名前		
ご所属		
部 署		
役 職		
連絡先	ご住所	
	TEL	FAX :
	E-mail	

## ■ 会場案内

